

# たいじょうほうしん 帯状疱疹とは…

小さな水ぶくれ(水疱)や、赤み(紅斑)が、体のあちこちに、  
帯状(ベルト状)に出現するので、この名前がついています。

## <1>どんな病気なの？

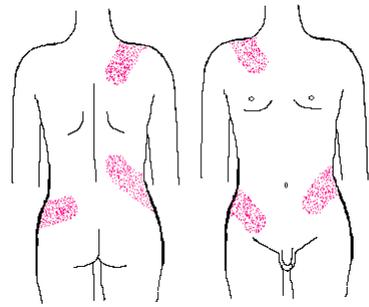
＊子供の頃に、ほとんどの人が水痘(水ぼうそう)を経験します。水痘(水ぼうそう)になると、全身に小さな水ぶくれが出来ますが、これは水痘－帯状疱疹ウイルスの感染によるものです。

＊このウイルスは、その後、全身の神経節付近に潜伏して、休眠状態に入りますが、数十年後に再活性化されて、突然目を覚まし、付近の神経に沿って帯状に水疱、紅斑が出現し痛みや知覚異常を伴います。

＊再活性化のきっかけとしては、加齢による免疫能力の低下や、過労、ストレスなどがあります。

＊帯状疱疹は普通、一回限りですが、再発をくり返す場合、白血病、ガン、膠原病などが、かかっている事が多いので要注意です。

## <紅斑・水疱の出方>



## <2>どんな所に出ますか？

＊全身の神経ネットワークのどんな場所にでも発生します。

＊知覚神経の分布に沿って体の片側に、「異和感」「痛み」「あかみ(紅斑)」が出現し、次第に「水ぶくれ(水疱)」が出現してきます。

＊水疱が破れると「ただれ(びらん)」から「かさぶた」になっていきます。

＊知覚神経だけでなく、顔面神経の運動麻痺と味覚障害、内耳障害を起こす事が、まれにあります。(ラムゼイ・ハント症候群)

＊高齢者の場合、「帯状疱疹後神経痛」といわれる痛みが残る事があります。

＊帯状疱疹ウイルスは子供に伝染すると、その子は水ぼうそうになります。

- \*ほとんどの人にとっては初めての経験のため、はじめのうちは「何なんだろう？ジンマシンなんだろうか？」と不思議に思い、そのうちだんだん痛みがひどくなり、水ぼうそうみたいになってきてやっと「これは変だ」という事になります。

はじめのうちは、「じんま疹」かと思って、そのままにしていると、治療開始のタイミングが遅れてしまう事があるので。「じんま疹にしては変だな？」と思ったら、早目に、病院を受診しましょう。

### <3>治療は？

- \*帯状疱疹ウイルスのみを殺す飲み薬(バルトレックス)を1週間飲みます。
  - \*また、創の部分には軟膏(ソビラックス軟こうと、アンダーム軟こう)を塗ります。(処置の仕方は別紙で)
- 治療の開始が遅れたり、不十分だった場合、後で帯状疱疹後神経痛に悩まされる事になるので、きちんと治療をする事が肝心です。